

「花咲スポーツ公園再整備基本計画中間とりまとめ（案）」に寄せられた御意見と旭川市の考え方

○意見募集期間 令和7年10月15日（水）から令和7年11月14日（金）まで

○意見提出数 53件（個人53件 団体0件）

○意見の取扱について 今回の意見提出手続は、「中間とりまとめ（案）」（機能見直しが必要な既存施設の改修の方向性）に対する御意見を伺つておりましたが、この御意見とも関連する来年度策定を予定している「花咲スポーツ公園再整備基本計画」に係る御意見もいただいたことから、市の考え方を公表することといたしました。

※御意見につきましては、原則、原文のとおりとしておりますが、一部読みやすくするために要約・修正、類似意見の集約を行っています。

※匿名により提出者を特定できない御意見については、計上、公表・回答の対象としておりません。

No.	寄せられた御意見	意見に対する市の考え方
屋外プールについての御意見		
1	屋外プール 幼児用・25m プールを廃止 多目的プールを新設 売店を設置 (イス)(テーブル)を設置 レジャー活性化 今後は屋外プールに(売店)(イス)(テーブル)を設置させたいし、(浮き輪)(ビーチフロート)を使用して遊泳を楽しみたいし、市民だけではなく観光客にも泳いで遊泳を楽しませたいし、50m プールには多目的プールを設置させたいから、これから屋外プールにはレジャーの活性化を目指してほしい。 (類似意見3件を集約。)	屋外プールにつきましては、現在の利用状況を前提に、人口減少等社会情勢の変化などを踏まえると、現在の施設を維持するための全体的な改修は困難であり、施設改修と合わせた施設の見直しなどにより、コストの適正化を図ることが必要と考えております。 なお、意見募集期間中に25m プールを持つ市内民間施設の年内営業停止が公表され、市内民間事業者のプールの運営状況の変化があったことから、来年度策定を予定している「花咲スポーツ公園再整備基本計画」において、改めて市内プール施設の状況等を調査し、見直しの方向性を検討するとともに、施設の運用方法についても検討することで、誰もが利用しやすい施設となるよう取り組んでまいります。いただいた御意見につきましては、参考とさせていただきます。

2	<p>プールの改修計画について、施設の利用状況から中間とりまとめ（案）のとおりやむを得ないと思いますが、施設の終了時間については、令和7年度は17:00でしたが特に平日は、会社帰りに利用する人もいることから18:00に戻して欲しいです。</p>	<p>プールの改修計画について御理解いただき誠にありがとうございます。</p> <p>御意見をいただきましたプールの終了時間につきましては、関係部局と共有し、プール運営の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>50mプールを現状の形のまま維持存続して欲しい。</p> <p>50mプールについては、大会出場に向けてタイム練習をする人や遠泳のためゆっくり泳ぐ人などがいるため、3コースにすると泳ぐスピードが異なる人が混在し、十分な練習ができなくなる。子どもが遊ぶ25mプールは他の公園にもあり、大会参加に向けて通年の練習ができる民間施設も減ってきていていることから、レクリエーション利用を目的とした改修をするのではなく、現在の50mプールは確保して欲しい。</p> <p>維持費がかかるのであれば、使用料を増やすしたり、小中学生の無料もやめることもあるのではないか。</p> <p>また、プールを加温式にすることで利用者を増やすこともできるのではないか。</p> <p>（類似意見2件を集約。この他、現在の利用者の状況についても御意見をいただいています。）</p>	<p>花咲スポーツ公園屋外プールを御利用いただき誠にありがとうございます。</p> <p>屋外プールにつきましては、現在の利用状況を前提に、人口減少等社会情勢の変化などを踏まえると、現在の3つのプールを維持するための全体的な改修は困難であり、施設改修と合わせた施設の見直しなどにより、コストの適正化を図ることが必要であることについて、御理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、意見募集対象の中間とりまとめ（案）に示した15ページの図はイメージであり、50mを3コースにすることを決定したものではありません。市内民間事業者によるプールの運営状況の変化があったことから、来年度策定を予定している「花咲スポーツ公園再整備基本計画」において、改めて市内プール施設の状況等を調査し、見直しの方向性を検討とともに、施設の運用方法についても検討することで、誰もが利用しやすい施設となるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、使用料の見直しや現在の利用状況についての御意見は、関係部局と共有し、プール運営の参考とさせていただきます。</p>

4	<p>花咲プールが50メートルで、大会練習には良き場だと思っております。</p> <p>しかし、北海道第2の都市で、全天候型のプールになると、今回はもっと増加すると思います。空港もJRも宿も備えてる旭川は、全道のみならず全国の水泳大会開催しやすい立地です。又、水難救助練習等のレーン貸しも出来そうです。</p> <p>今春、民間事業者のプール廃止に始まり、11月1日に別の民間事業者が年内閉店を発表し、プールの場所は激減してます。プール難民増加なのです。ですから行政主体で、廉価で通年使えるプールを希望します。市民は安くて、それ以外利用者は別料金設定有りだと思います。</p> <p>今回は縮小を打ち出していますが、50メートルは大会仕様のまま。そして他のプールも、大会時のサブプールに兼用利用出来ますし。</p> <p>道内の平岸、野幌や帯広は屋根付きで、だいぶ老朽化していますが、利用者が多い印象が有ります。旭川近郊から、千歳温水プールや平岸に通っている旭川市民も居ます。</p> <p>情報や声を集めて、熟考お願い申し上げます。</p>	<p>御意見をいただきました全天候型プールにつきましては、現在の利用状況を前提とすると、新たな施設として整備するために要する多額の費用に対して、効果が限定的であると考え、公園全体の再整備の考え方を整理した花咲スポーツ公園再整備基本構想（令和5年度策定）においては、現在の屋外プール機能を維持しつつ規模の見直しを検討することとしたところであります。</p> <p>市内民間事業者によるプールの運営状況の変化があったことから、改めて市内プール施設の状況等を調査し、見直しの方向性を検討するとともに、施設の運用方法についても検討することで、誰もが利用しやすい施設となるよう取り組んでまいります。</p>
5	<p>屋外プールに日陰スペースをたくさん造ってほしい。</p> <p>「屋根付き」プールにてもいいです。</p> <p>賑わいをもたらすのはよいですが、車の動線に歩行者が関わることのないようにしてほしい。</p> <p>東川町のように市民価格など、市民特典を大いに実施してほしい（使用料等）</p> <p>室内、屋外全てのトイレは、男性トイレ女性トイレの出入口を正反対に設けたり「ここは男性トイレのみ」「ここは女性トイレのみ」など防犯対策の徹底をお願いする。</p>	<p>屋外プールについては、来年度策定を予定している「花咲スポーツ公園再整備基本計画」において、見直しの方向性を整理いたしますが、施設の具体的な改修内容の検討においては、日陰スペースの配置についても検討してまいります。</p> <p>その他の御意見につきましては、事業を推進していく上の参考とさせていただきます。</p>

その他の新たな施設整備についての御意見		
6	JRA 旭川競馬場を花咲スポーツ公園内にも作って欲しい。 (類似意見 2 件を集約)	競馬場の設置につきましては、公園全体の再整備の考え方を整理した花咲スポーツ公園再整備基本構想（令和 5 年度策定）において想定しておりませんが、御意見として受け止めさせていただきます。
7	今のリックアンドスーに入っている幼児体育室のような公園とはまた違う体を動かせる設備のある施設が欲しいです。 幼児というより小学生くらいの子どもを対象とするような、ボルダリングや鉄棒、トランポリン等があると良いと思います。	令和 6 年度に策定した花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画において、新アリーナに現総合体育館の幼児体育室と同規模のキッズルームを整備することとしております。 いただいた御意見につきましては事業を推進していく上の参考とさせていただきます。
花咲スポーツ公園再整備についての御意見		
8	花咲スポーツ公園の建設及び花咲スポーツ公園再整備基本計画に反対します。（類似意見 4 件を集約）	花咲スポーツ公園は、北北海道のスポーツ拠点として長年親しまれてきましたが、公園内の主要な施設は、建設されてから 30 年以上が経過し、老朽化が進んでおります。補修や修繕のみでは施設維持にも限界がきており、特に総合体育館は耐震基準を満たしていないため、早期の対応が必要となっています。 また、多様化する公園利用ニーズへの対応や全国的にも激甚災害が発生する中、防災拠点としての機能強化が求められており、これらに対応するためには、市の財政状況を踏まえた計画的な再整備が必要であることから、令和 5 年度に花咲スポーツ公園再整備基本構想を策定いたしました。この基本構想を踏まえて、昨年度は総合体育館の建替による新アリーナ整備について基本的な方向性を定める「花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画」を策定し、今回、機能の見直しが必要な

		施設についてその中間とりまとめを行っております。これらをとりまとめ、令和8年度に花咲スポーツ公園再整備基本計画を策定することで、計画的な再整備を進めてまいります。
9	<p>全体として、老朽化への対応が求められていることは理解出きます。多様化するニーズへの対応のなかで、家族連れへの対応検討や避難環境整備には同意できます。</p> <p>一方で、新アリーナは5000人規模の収容を想定していることに疑問をもちました。バス運行に課題がある当市において、5000人が移動できる環境を整えるのは容易ではありません。周辺道路に自動車が渋滞すると日常生活への支障が生じる懸念があります。利用者が多様化し企画の工夫が求められると思われますが、スポーツ公園という特色が薄れるような「あれもこれも」では財政面に無理が生じると思います。</p> <p>私の周りでは、日常的に練習する施設の少なさを嘆く声が多数あり、整備は重要だと思います。スポーツ公園施設が大きな企画のためだけではなく、だれにとっても利用しやすい場所であり、そのためには料金も安くしてほしい。子どもだけでも安心していける場所であってほしいと思います。</p>	<p>老朽化への対応の必要性等について御理解いただき誠にありがとうございます。</p> <p>新アリーナにつきましては、花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画（令和6年度策定）において、スポーツを「する」ことに加え「みる」「ささえる」ことで本市のスポーツ振興に繋がる施設となることを目指しており、プロスポーツの試合開催が可能な約5,000席の観覧席整備を予定しています。</p> <p>新アリーナ整備による渋滞への懸念についてですが、同基本計画において、花咲スポーツ公園内で通常開催されているスポーツ大会（参加者約2,000人規模）に対応するため、常時使用する駐車場として、現在の駐車台数よりも多い、500台の駐車場を新アリーナ周辺に確保することとしております。しかし、イベント開催時に対応する駐車台数を満たす駐車場を公園内に整備することは困難なため、公共交通機関の利用を促すとともに、周辺での臨時駐車場の確保、シャトルバスの運行などの方策を検討することしております。</p> <p>新アリーナ整備につきましては、官民連携による整備のための手続きを進めており、事業者選定の際には、財政負担軽減の視点でも慎重に審査を行いますし、その過程においても、渋滞対策はもちろんですが、誰もが楽しめて利用しやすい公園となるよう取り組んでまいります。</p>

10	<p>花咲スポーツ公園への新アリーナ建設には反対する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少するのに東光と花咲に2つも大きな体育館は必要ない。 ・総合体育館の後継を東光スポーツ公園複合体育施設と定めているなら花咲新アリーナは中止すべき。 ・周りにスポーツ施設を利用している人がいない。 ・アリーナができることで、旭川市の財政が潤うとは思えない。 ・民間経営であってもアリーナ運営が赤字となった時に市の補助が必要になる。市民の税金が高くなる。 ・アリーナ周辺の駐車場整備に費用がかかる。 ・プロバレーボールのためのアリーナは必要だと思わない。 ・市民負担より、民間の利益を優先しているようにしか思えない。 ・物価高対策や冬の灯油代支給、寿バスカードの負担軽減、学校給食費無料化に回すべき。 ・水道管などのインフラの方が大事。公民館の手入れを先にするべき。必要なものに税金を使って欲しい。 <p>(類似意見37件を集約)</p>	<p>花咲スポーツ公園再整備基本構想において、特に耐震基準を満たしていない総合体育館は、その利用状況などからも早急な対応が求められており、さらに現在の本市のスポーツ需要を満たすために必要となる花咲スポーツ公園の新アリーナ及び東光スポーツ公園の複合体育館の早急な整備を進めることとし、令和6年度に花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画の策定及び令和7年度に東光スポーツ公園基本計画(複合体育施設)の改定を行っております。</p> <p>他の公園施設の改修時期につきましては、来年度策定を予定している花咲スポーツ公園再整備基本計画において、公園全体の施設改修の優先順位を検討し設定いたしますが、現時点では早期に整備を行う花咲スポーツ公園新アリーナの整備後に、新アリーナと同じ公園北東側にあるプール等の改修を行うことを想定しております。これは新アリーナの関連工事と同时期に他の工事を実施することは、花咲スポーツ公園の利用に支障を与える恐れなどがあるためです。</p> <p>なお、本市のスポーツニーズにおける体育館の整備の必要性につきましては、平成28年度に策定した東光スポーツ公園基本計画(複合体育施設)において、スポーツ団体との意見交換や市民アンケートなどから、大会開催や市民の日常利用などのニーズに対して、花咲スポーツ公園の総合体育館や他の屋内スポーツ施設がある状況においても施設が不足しており、現在も市内でのスポーツ大会開催にあたって施設が確保できない場合やスポーツ大会開催によって市民の一般利用に</p>
----	---	---

制限がかかるなど、屋内スポーツ施設の不足は続いています。

このことから、花咲スポーツ公園新アリーナと東光スポーツ公園複合体育施設は役割分担を行い、この両施設を合わせて本市のスポーツニーズに応えることとしており、東光スポーツ公園複合体育施設を現在の花咲スポーツ公園総合体育館の後継施設とすることは、関連する基本構想及び基本計画に位置づけてはおりません。役割分担に基づき、花咲スポーツ公園新アリーナは、市民利用の他、プロスポーツやライブ・コンサートなど多目的な用途に対応した地域の賑わいづくりにも繋がる多目的アリーナとして、東光スポーツ公園複合体育施設は、市民利用や大会開催に適したスポーツ施設としてより使用しやすいよう施設配置や観客席数も見直しております。

現在、花咲スポーツ公園新アリーナの整備については、民間活力の導入により整備する手続きを進めており、事業者選定の際には、財政負担軽減の視点でも慎重に審査を行いますし、他都市の例も参考にしながら、アリーナ運営事業が安定的に継続されるための取組を導入し、市として将来にわたって過度な負担とならないよう進めてまいります。

また、他の大型事業や市全体の財政状況も考慮しながら、花咲スポーツ公園全体の再整備の具体的な内容やスケジュールを検討してまいります。

花咲スポーツ公園新アリーナ及び東光スポーツ公園複合体育施設の整備以外の御意見につきましては、関係部局と共有させていただきます。

